

かんしゃ きも
感謝の 気持ちを
あらわ たの
表すことを 楽しもう

あなたって、
きが 利くのね!

ありがとう!

ほんとう
本当に
かんしゃ
感謝してるよ!

いつでも
がんばりだよ!

きみ
君は、
かんしゃ
感謝することを
たの
楽しんでるかい?

さま
イエス様、
あい
愛してます!

ワンワン!





こんにちは!

やあ。

ステキな
ブリーフ
ケースだね!

いらっしやい!

やあ。

ひと がいけん
「人は 外見を
み 見るが、わたしは おも
こころ み
心を見るんだよ。」
(サムエル記上
16:7より)

だれもが、自分 は じぶん たいせつ
大切で
ひつよう
必要とされていると かん
感じる
ひつよう
必要がある。感謝を かんしゃ しめ
示されると、
ひと あい
人は 愛されていると かん
感じる
ものなんだ。

ひと かんしゃ ひつよう しあわ
人には 感謝というものが 必要だ。幸せで
いるために、だれもが かんしゃ きも
感謝の 気持ちを
あらわ ひつよう
表してもらう 必要がある。その人の 見かけや
おこな がいけん
行いや 外見が どうであれ、さらには じぶん
自分が
かんしゃ ひつよう
感謝を 必要だと みとめない ひと
人でも、
かんしゃ ひつよう
感謝されることを 必要としているんだよ。

み ひと はんだん
見かけだけで 人を 判断することは
できない。だれが かんしゃ ひつよう
感謝を 必要としていて、
だれが かんしゃ ひつよう
感謝を 必要としていないか、君には
わからないからだ。それを 知っているのは、
かみさま ひと
神様だけだよ! だけど、すべての 人が、
かんしゃ きも あらわ ひつよう
感謝の 気持ちを 表してもらう 必要が
あることは 確かだ。



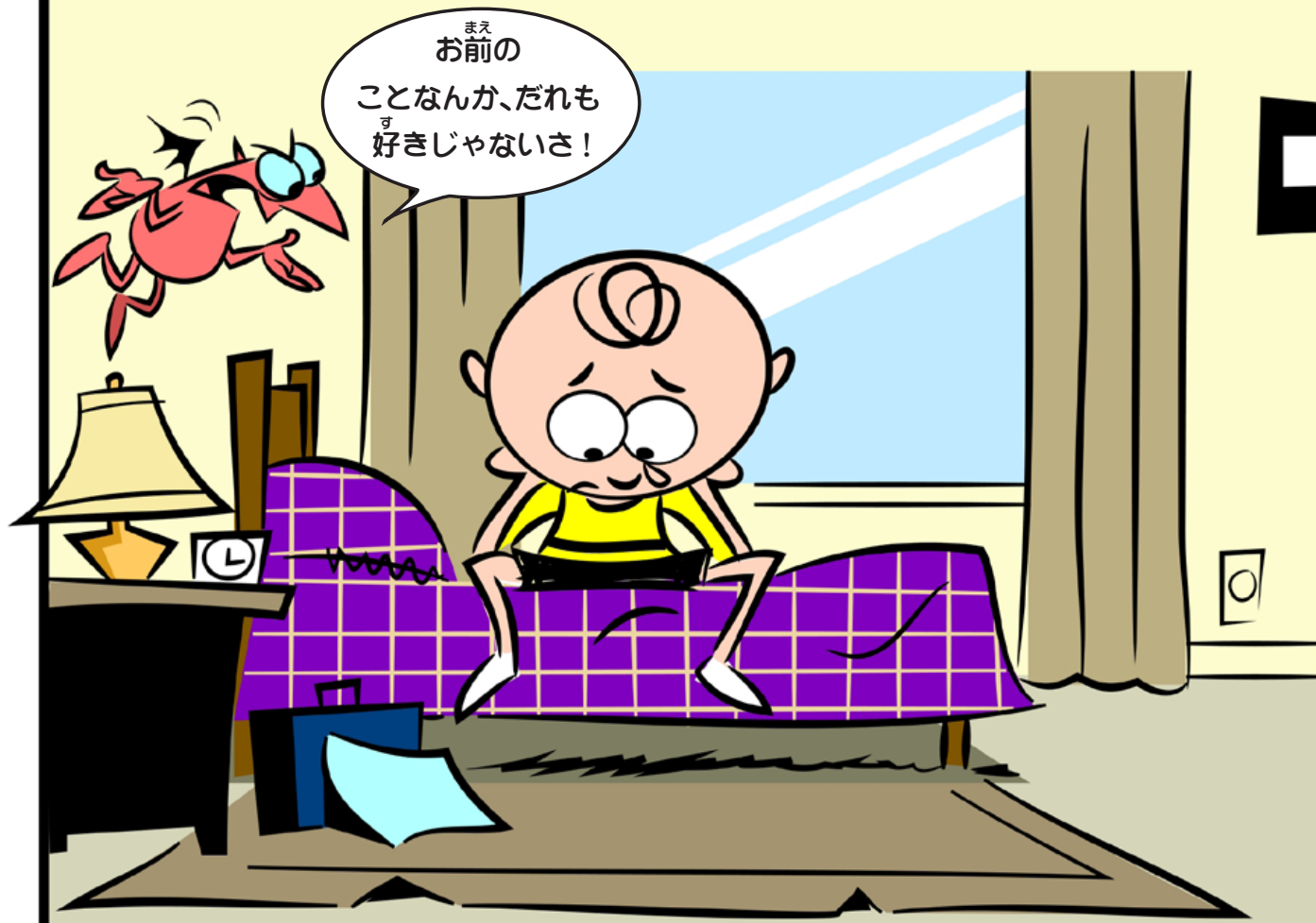
かれ 彼って、やけに
つめ 冷たそうだなあ。

あたら とも
新しい 友だち、
いらないのかしら。

ほかの
ひと ひつよう
人なんか 必要じゃ
ないだろう。

ほとんどが 全く 感謝まつた かんしゃ しめを示されないと、人は だんだん、
自分が 愛じぶん あいされておらず、大切たいせつでもないと感じかん始めはじたりする。

お前の
ことなんか、だれも
好きすじゃないさ!

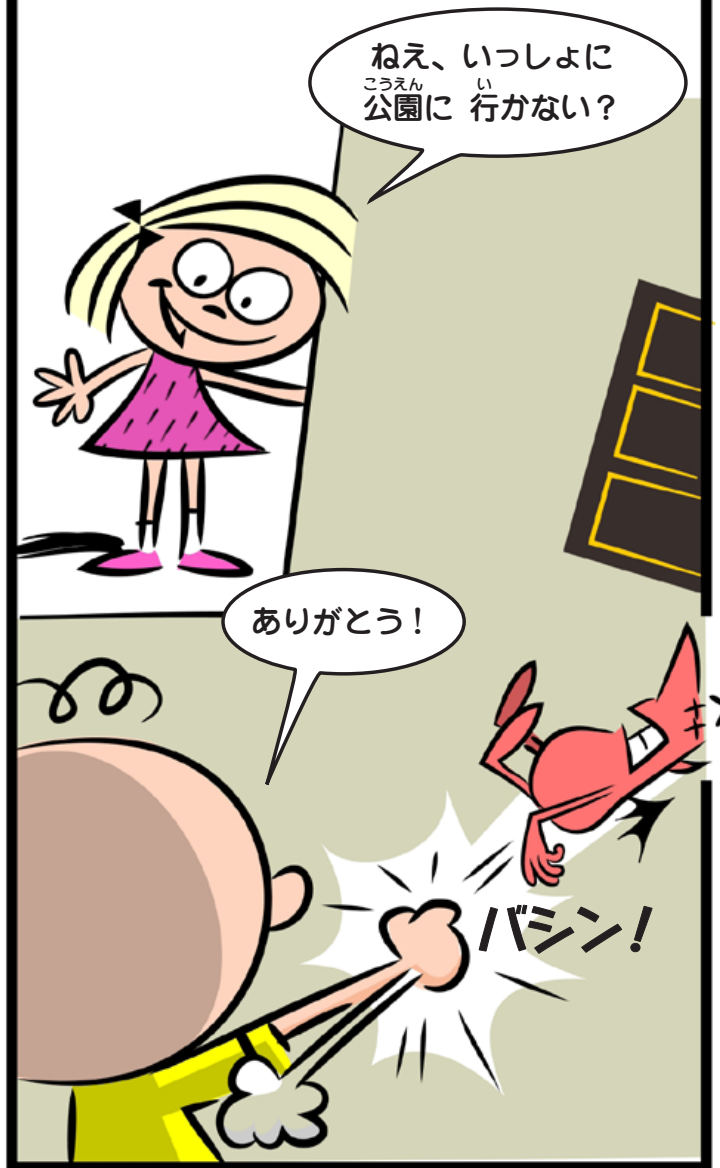


すると、否定的ひていきになつたり、落ちこんだり、
人と 比べくら合あつたり しゃすくなるんだ。

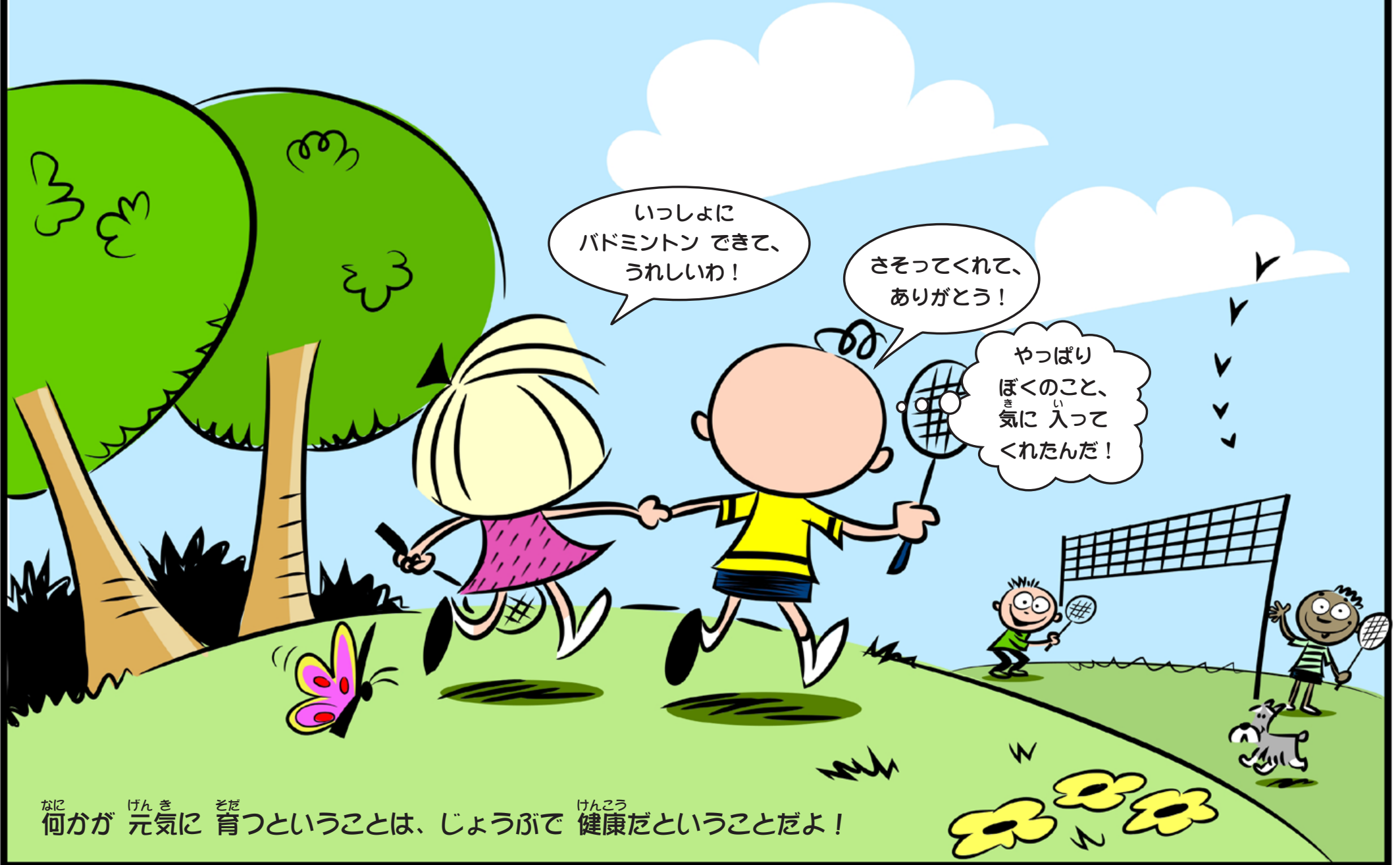
感謝かんしゃは、自分じぶんに 対する 否定的ひていきな
感情かんじょうを げきたいする。

ねえ、いっしょに
公園こうえんに 行かない?

ありがとう!



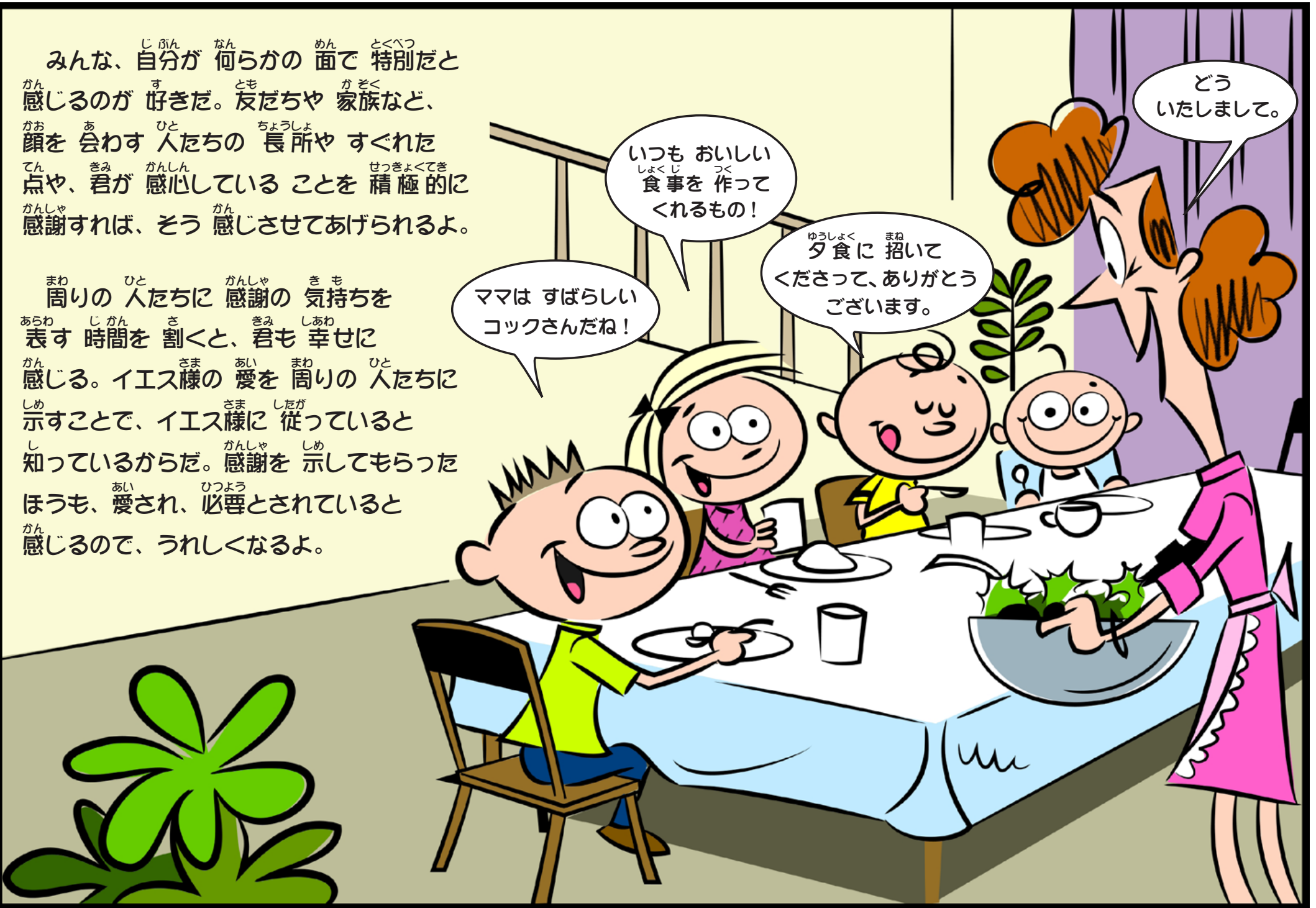
こころ あい がんしゃ たましい げんき ぞだ みず ひりょう
心からの愛と感謝は、魂を元気に育ててくれる、水や肥料のようだ。



なに げんき ぞだ けんこう
何かが元気に育つということは、じょうぶで健康だということだよ!

みんな、自分が何らかの面で特別だと
感じるのが好きだ。友だちや家族など、
顔を会わす人たちの長所やすぐれた
点や、君が感心していることを積極的に
感謝すれば、そう感じさせてあげられるよ。

周りの人たちに感謝の気持ちを
表す時間を割くと、君も幸せに
感じる。イエス様の愛を周りの人たちに
示すことで、イエス様に従っていると
知っているからだ。感謝を示してもらった
ほうも、愛され、必要とされていると
感じるので、うれしくなるよ。

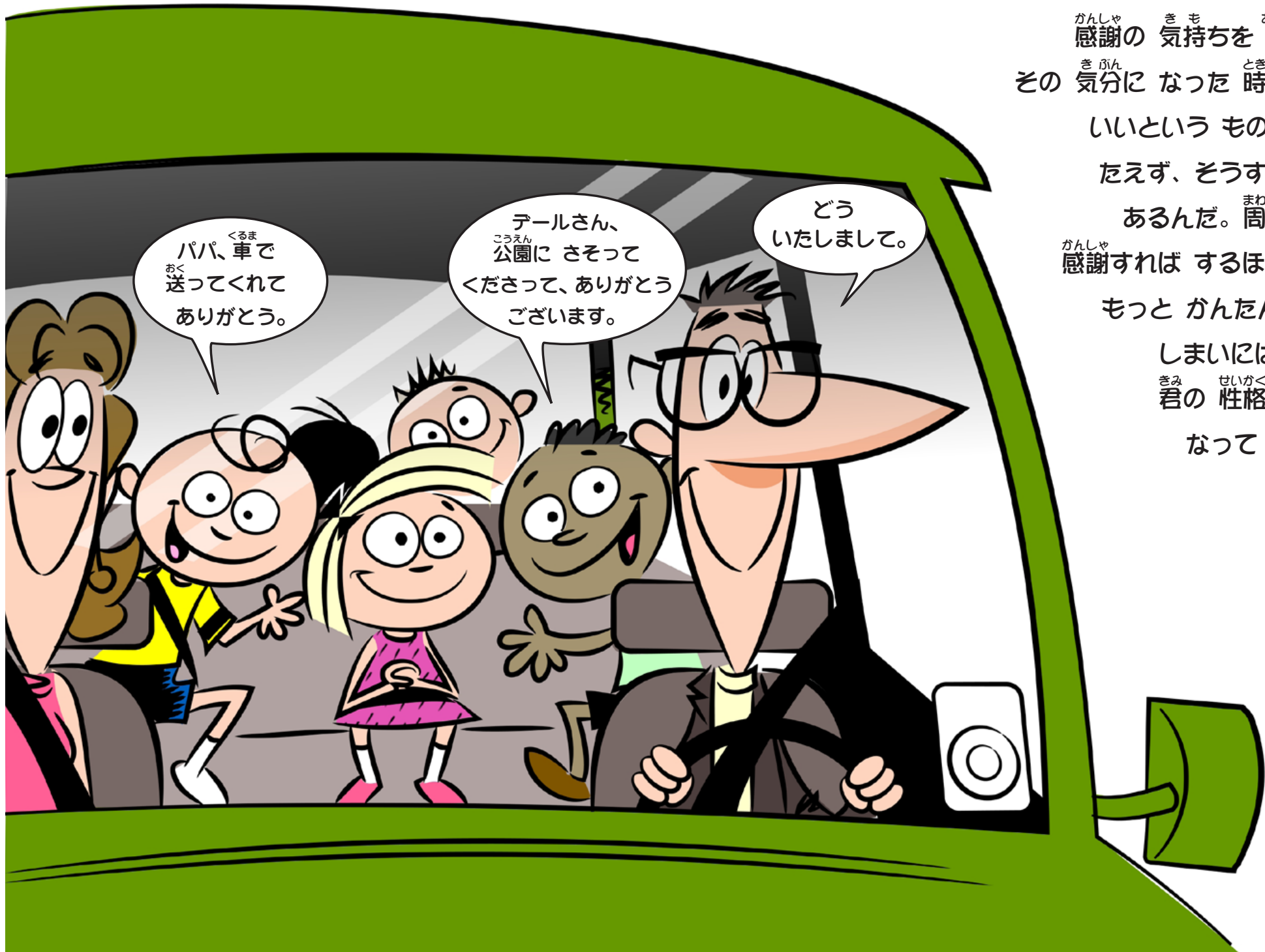


いつもおいしい
食事を作って
くれるもの!

ママは素晴らしい
コックさんだね!

夕食に招いて
くださって、ありがとう
ございます。

どう
いたしまして。



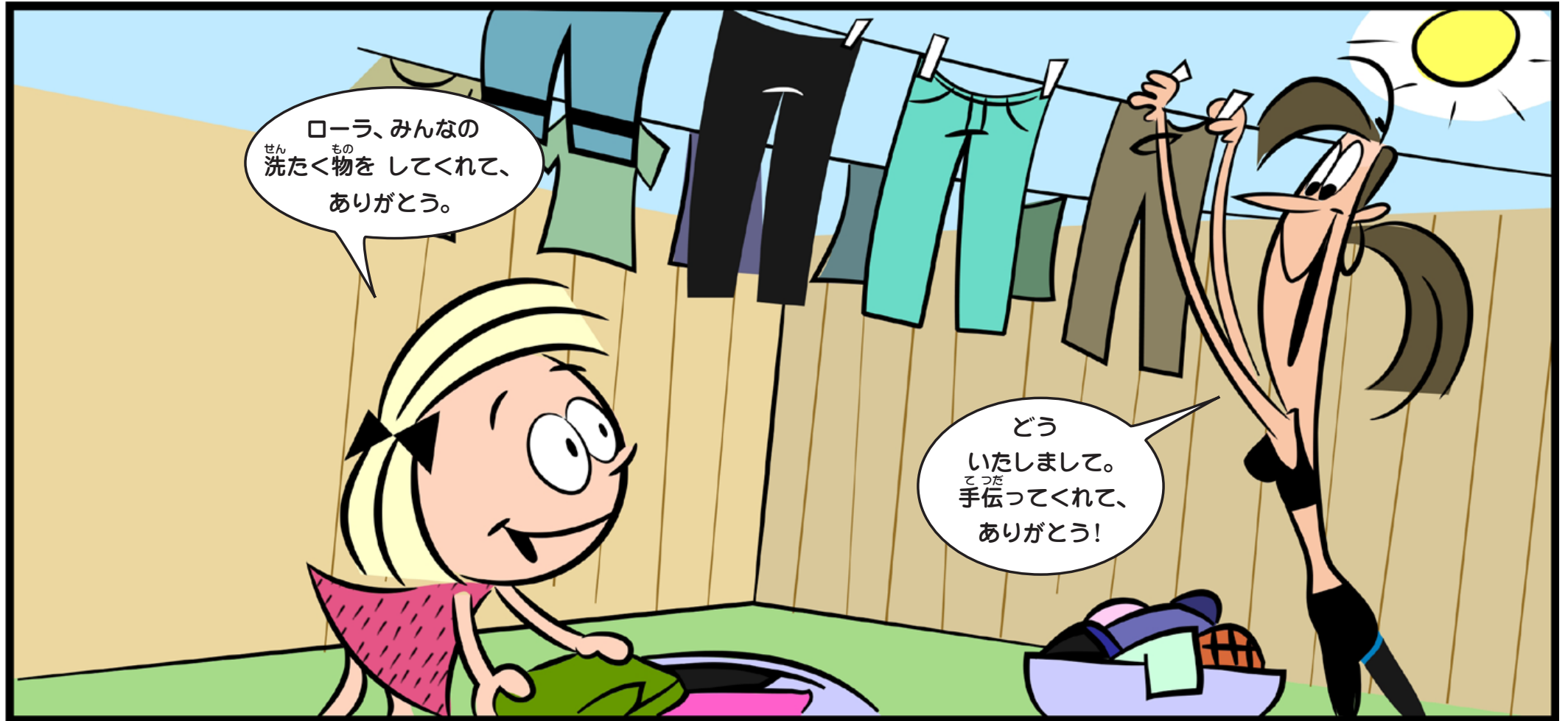
くるま
パバ、車で
おく
送ってくれて
ありがとう。

テールさん、
こうえん
公園に さそって
くださって、ありがとう
ございます。

どう
いたしまして。

かんしゃ きも あらわ
感謝の 気持ちを 表すのは、
その きぶん になった とき したら
いいという ものではなく、
たえず、そうする 必要が
あるんだ。 まわりの ひと
かんしゃ
感謝すれば するほど、それは
もっと かんたんになり、
しまいには、それは
きみ せいかく いちぶ
君の 性格の 一部に
なってくるんだ。

かんしゃ さいぜん ひと おも ちから
感謝には、最善をつくしたいと人に思わせる力がある！
たがいに かんしゃ あ なんばい しあわ
たがいに感謝し合つと、みんなが何倍も幸せになるだろう。



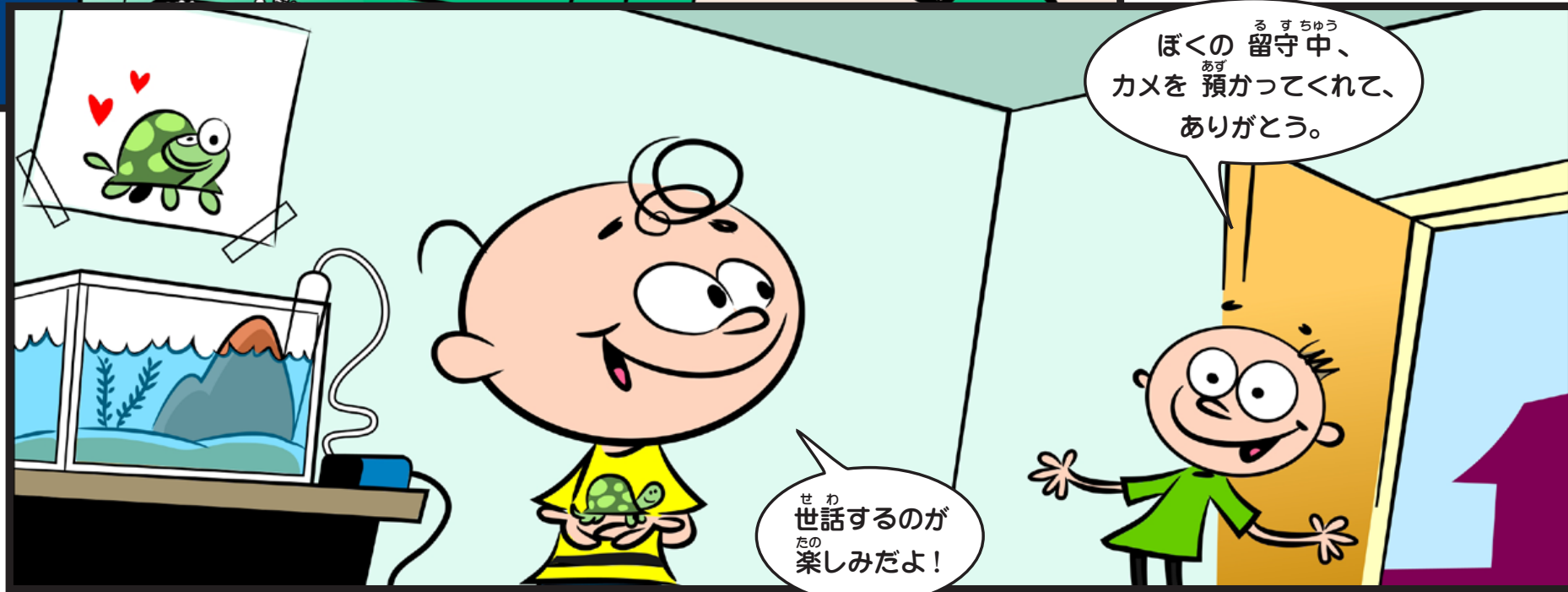


ねんしゅう
練習、
すごく
良かったよ!

ショーの
ために
祈ってるね!

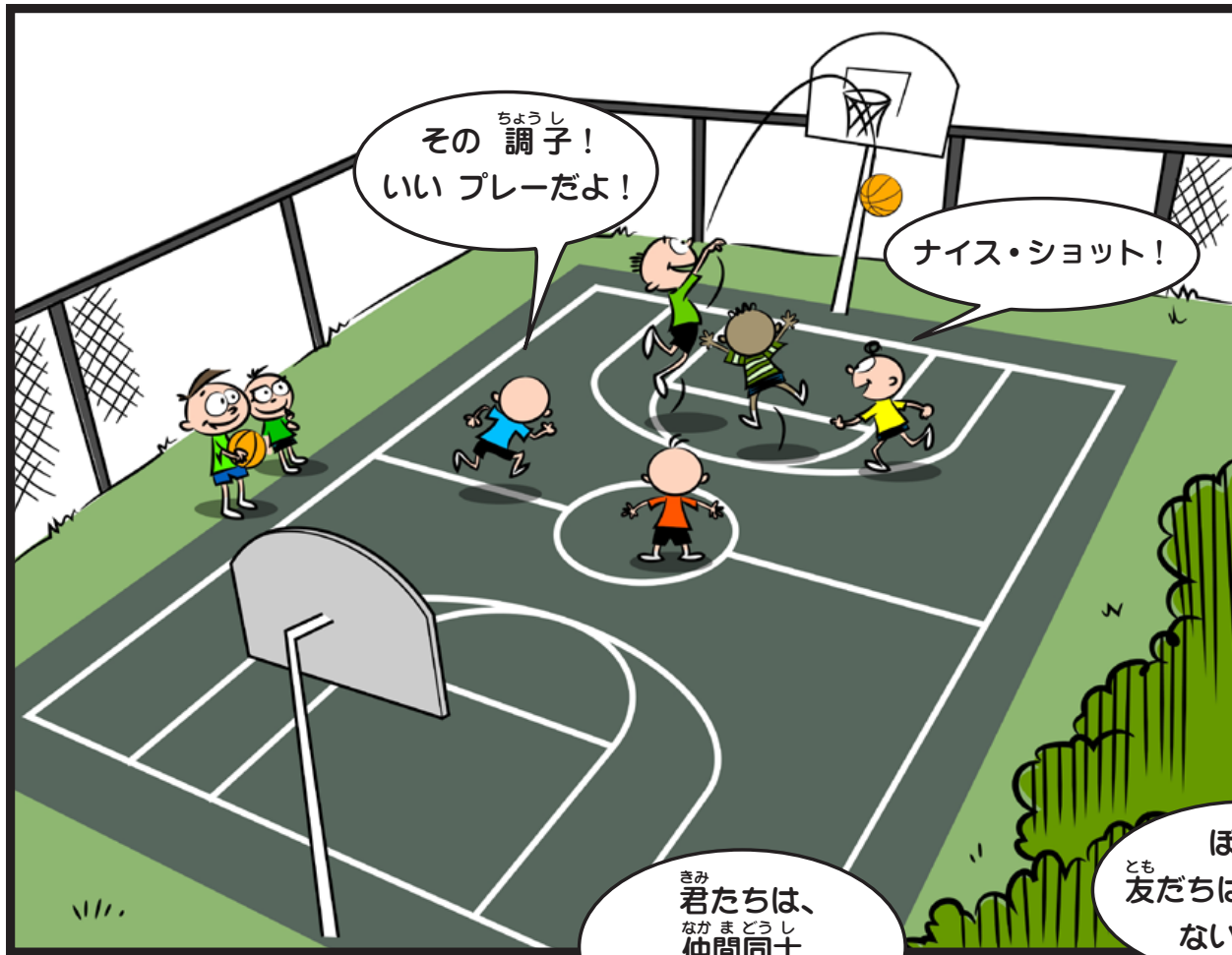
ありがとう!

じんせい
人生で いつも いちばん
たいせつ
大切なものは、愛だ。
そして、感謝も 愛の
かたち ひと
形の 一つなんだよ。



ぼくの 留守中、
カメラを 預かってくれて、
ありがとう。

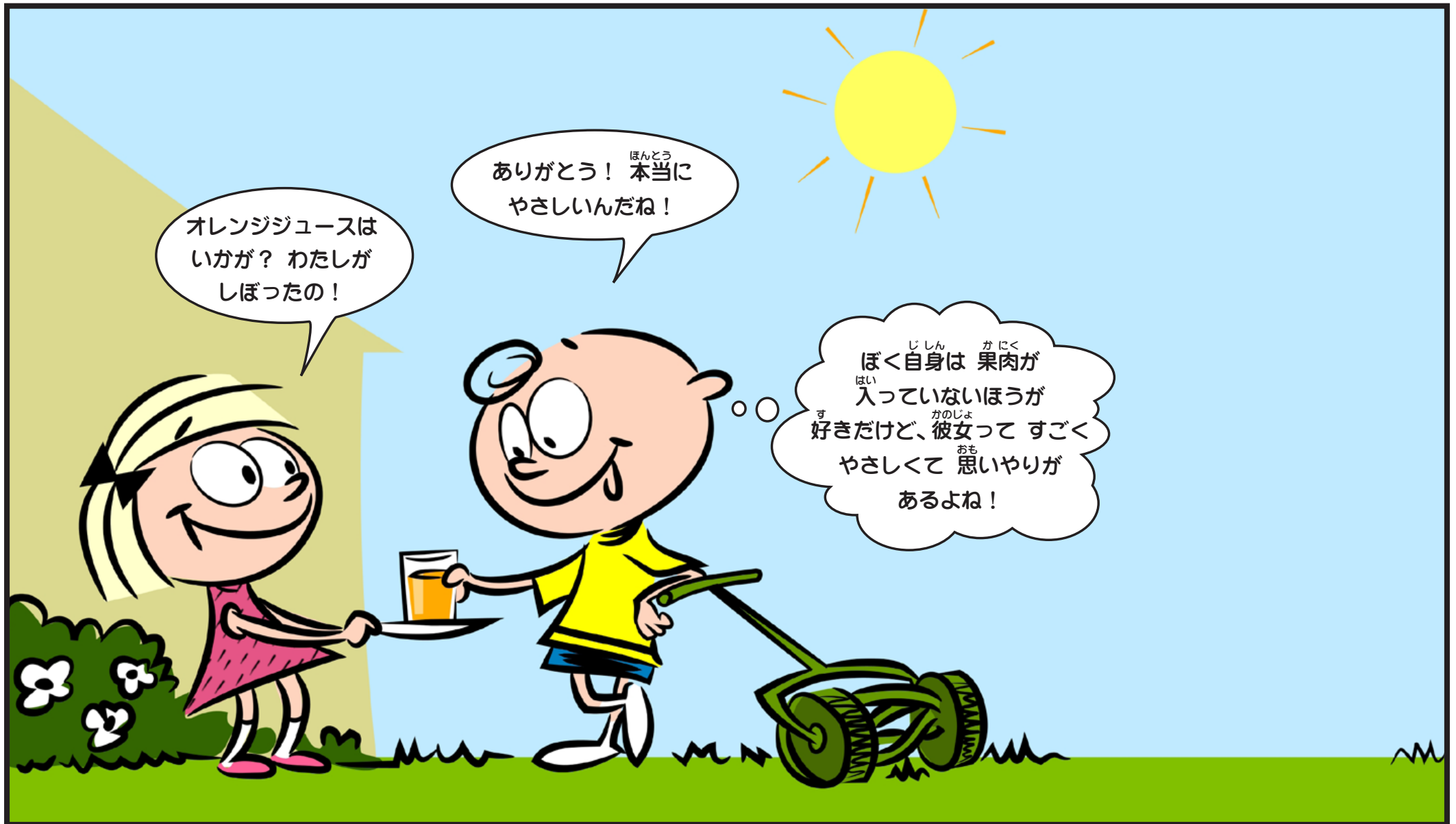
せわ
世話するのが
たの
楽しみだよ!



「もし あなたがたが おたがい^{どうし}、
愛^{あい}をもって 押し合う^{せつ あ}なら、それによって、
あなたがたが わたしに^{したが} 従^もう者であることを、
すべての^{ひと} 人が^し 知^しるようになるでしょう。」
(ヨハネによる福音書^{びくいんしょ} 13:35より)



感謝は、ほかの ^{ひと} 人の ^よ 良い ^{ぶぶん} 部分を見る ^{たす} 助けになる。 ^{ココロ} 心から ^{かんしゃ} だれかを感謝しているなら、
かれ ^{かれ} 彼らの ^{こうどう} おがしな ^{じぶん} 行動や、自分と ^{ものごと} ちがう ^{かた} 物事の ^{たい} やり方などは、大した ^{かた} ことでは ^{たい} なくなる。
^{かれ} 彼らの ^{めい} すぐれた ^め 面に ^む 目を向けているからだ。



だが、感謝が足りない、ほかの人のまちがいがやたらと目につきやすくなる。
ほかの人への純粋な愛と感謝がないと、小さな問題がもっと目立つからだ。

庭そうじ、ジムと
いっしょにするはず
だったのにな。彼は
バスケットに夢中じゃ
ないか。

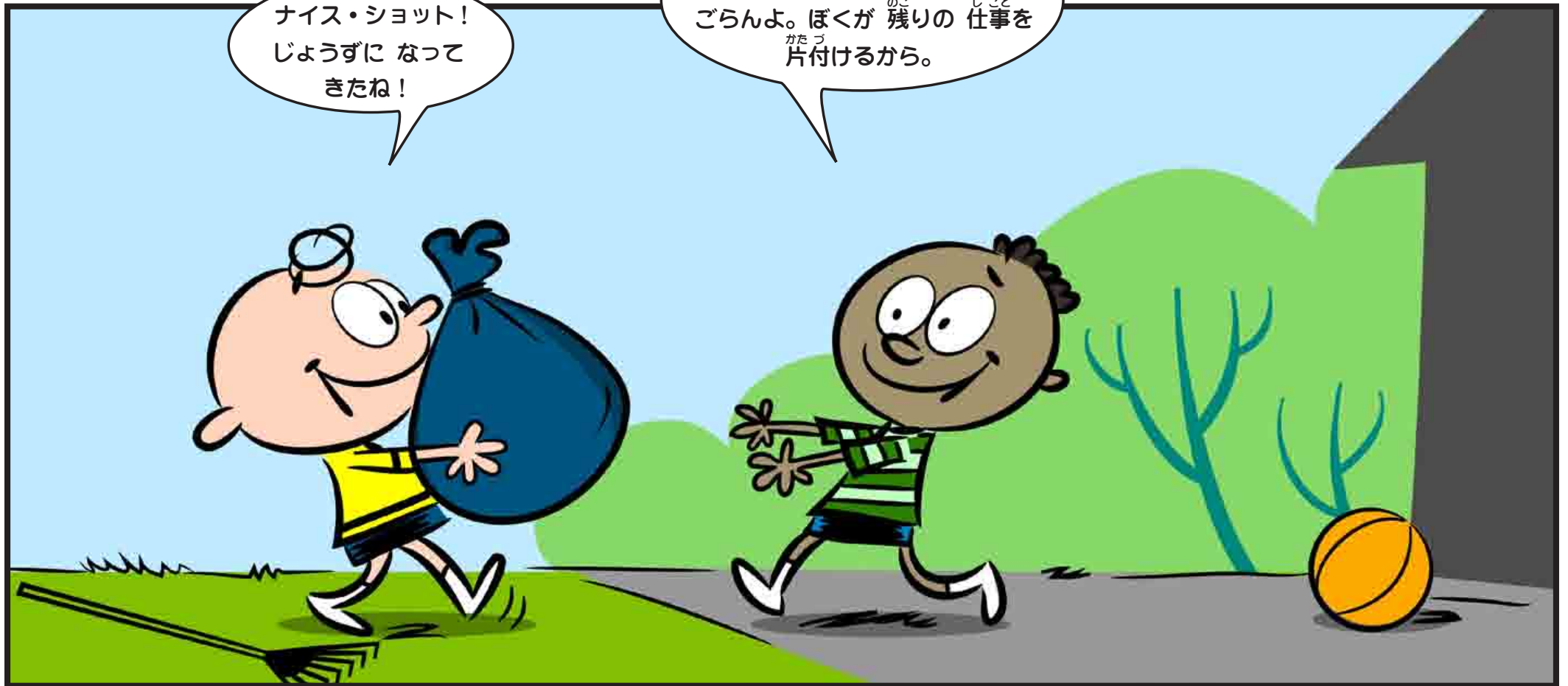
イエス様、ジムに
対してひはんに
ならず、前向きに考えて
あげられるよう、助けて
ください。

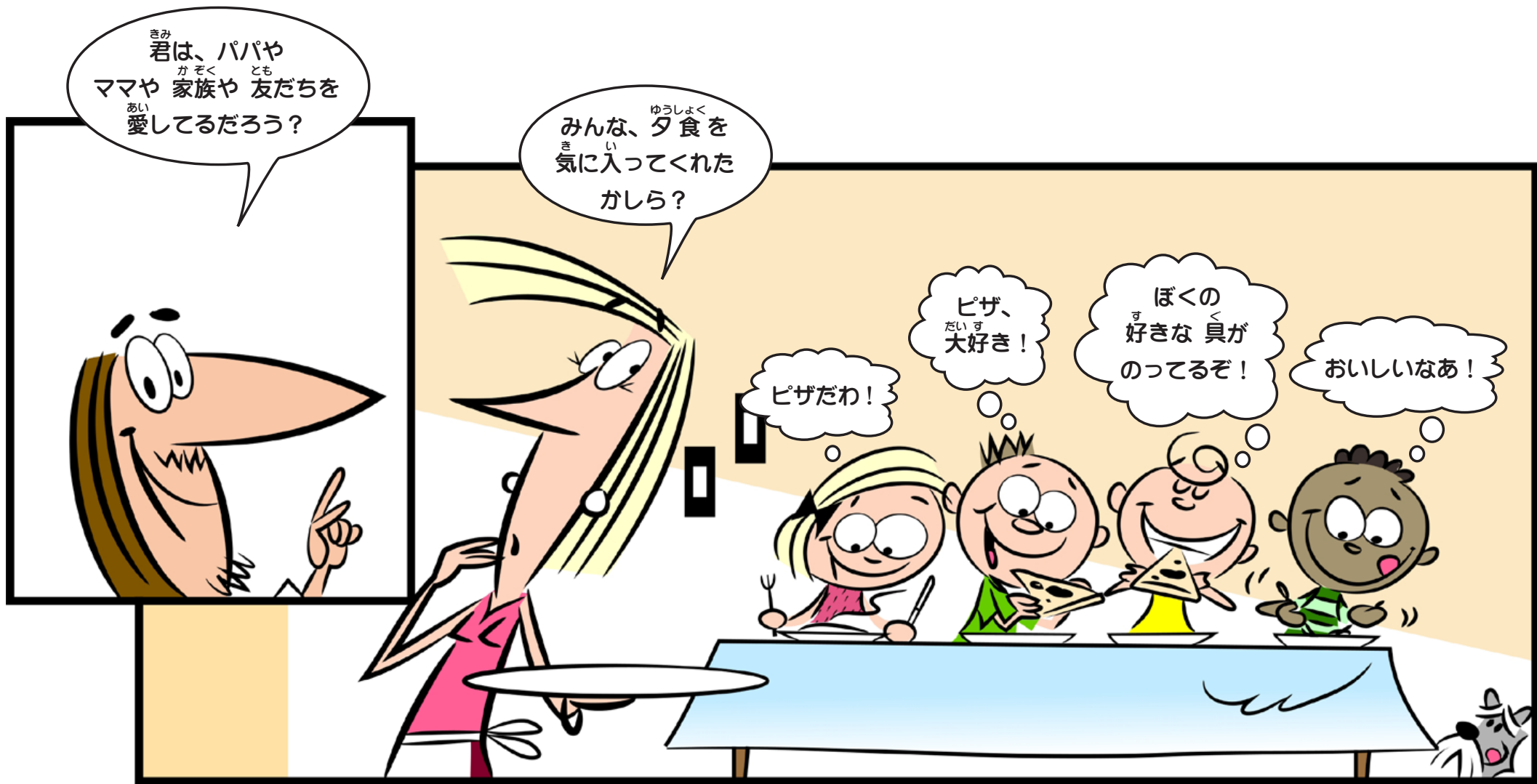


感謝は 他^たの 人^{ひと}の 上^{うえ}に、前^{まえ}向^むきな 光^{ひかり}を 投^なげかける。

ナイス・ショット！
じょうずに なって
きたね！

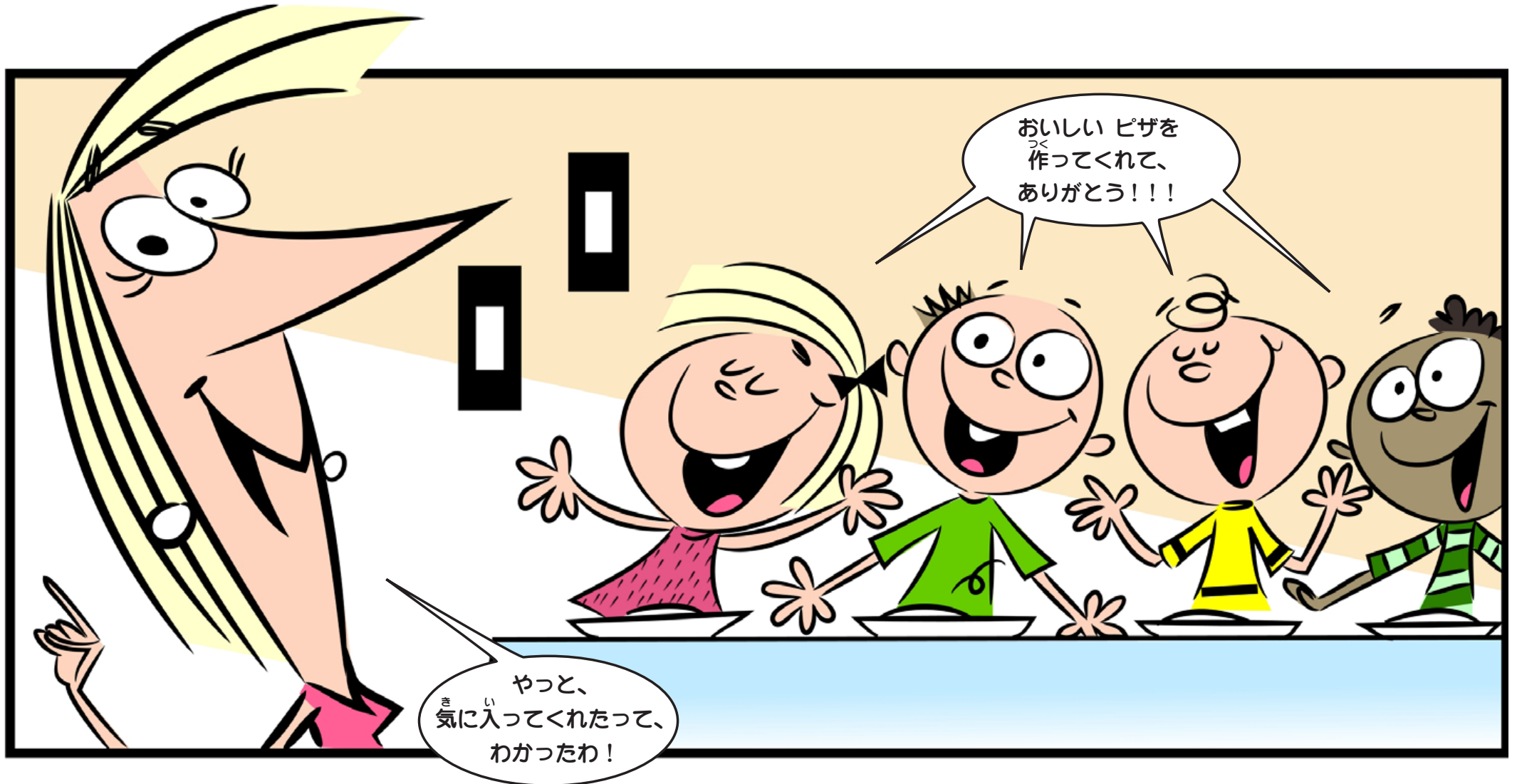
ありがとう！
今^{こん}度^とは 君^{きみ}が シュートして
ごらんよ。ぼくが 残^{のこ}りの 仕^し事^{ごと}を
片^{かたづ}付けるから。



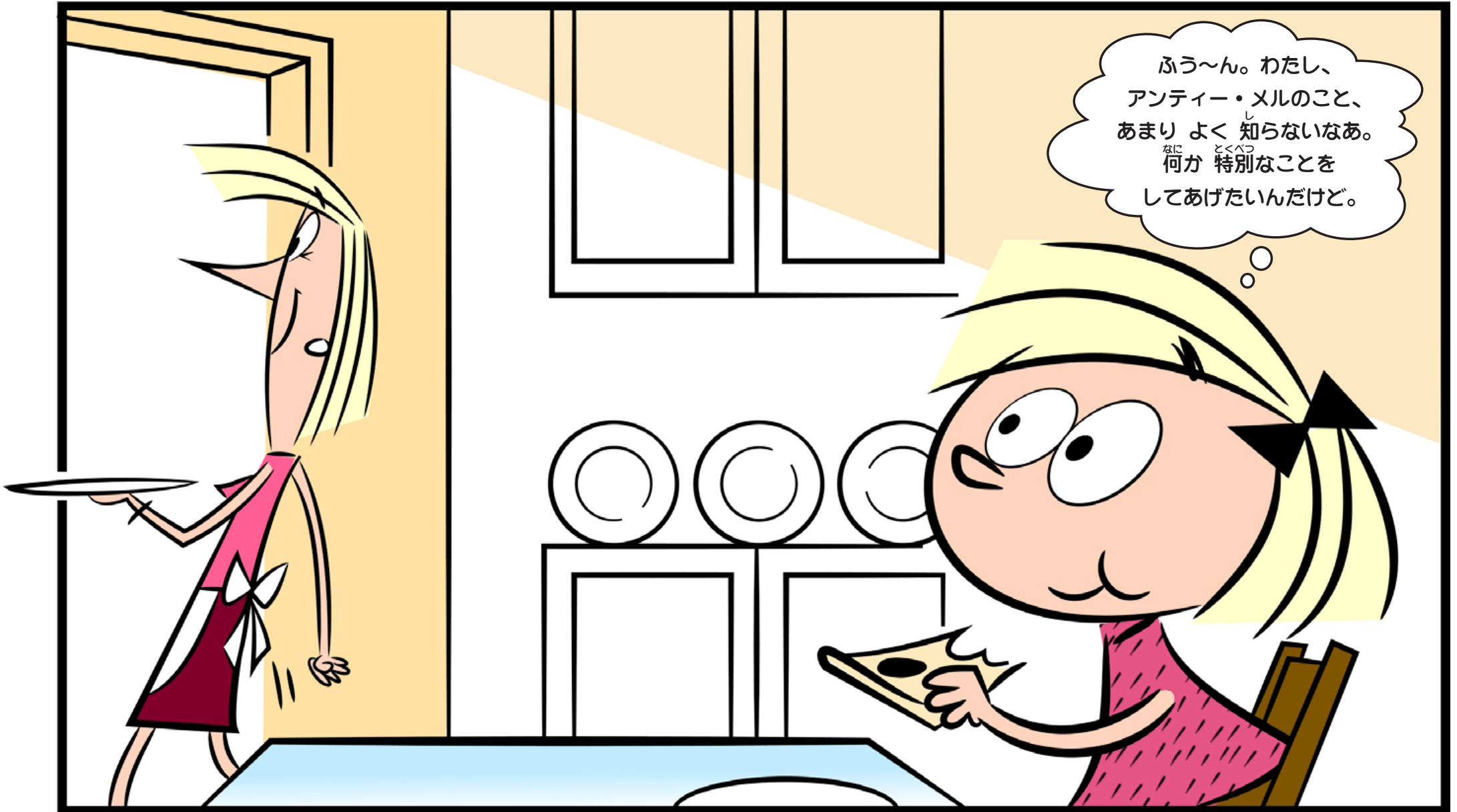


でも、それをしばしば 口に 出して 言っているかい？

ひとびと
人々は、自動的に感謝されていると知ることはない。
それをみみき
耳で聞かないとね！
あい
愛していることや
かんしゃ
感謝していることを
ひと
人に
つた
伝える
きかい
機会を
のがしては
いけないよ。

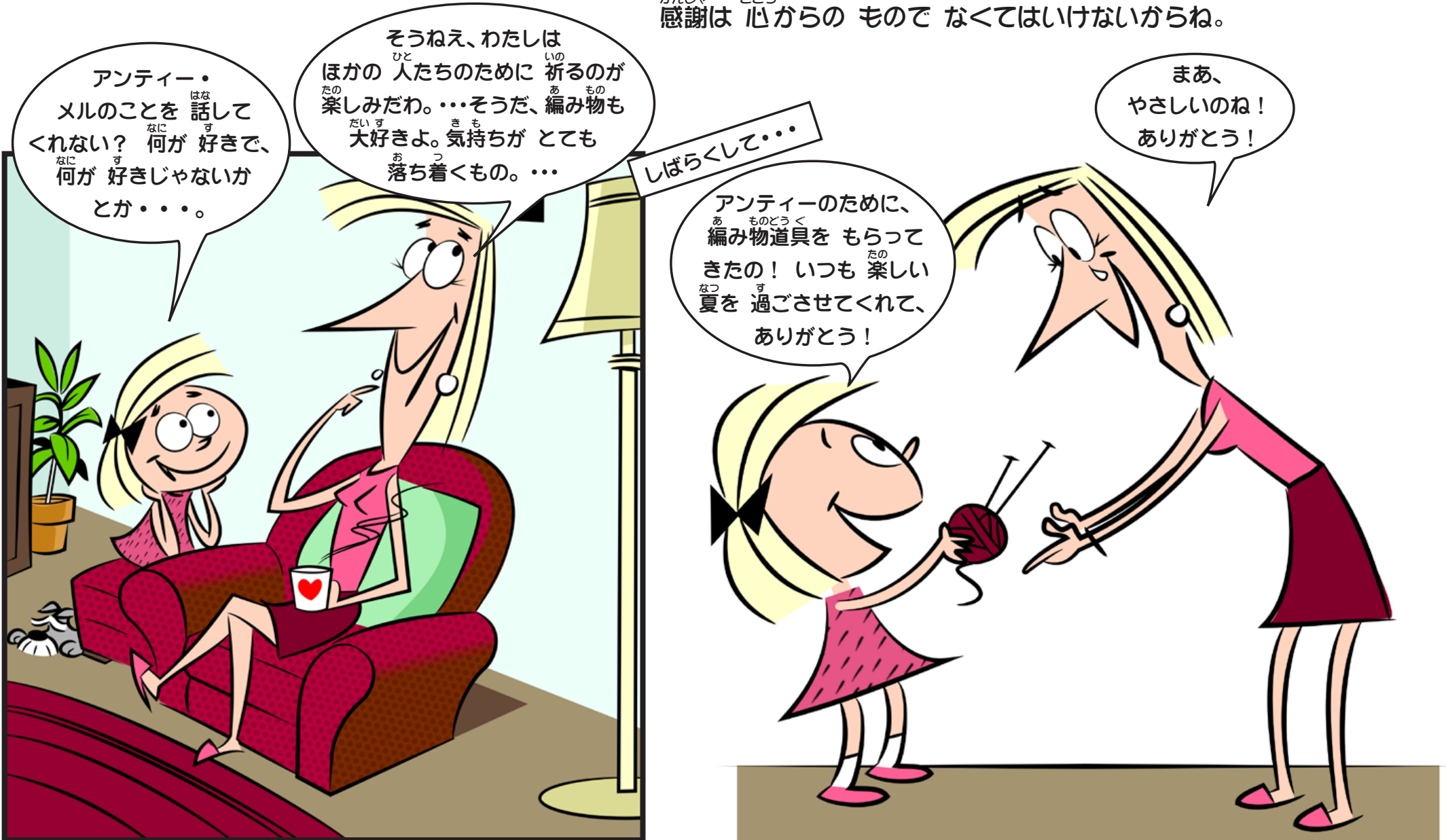


しよくじ つく 食事を作ってくれたり、なに 何かの やり方を かに 教えてくれたりなど、め み 目に 見えることに たい 対して
かんしゃ き も ありがとう 感謝の 気持ちを 表すのは かんたん だね。けど、ほかの ひと 人への きくば 気配りや おも 思いやりなど、
もっと 深いことについて かんしゃ き も ありがとう 感謝の 気持ちを 表すことも、たいせつ 大切なんだ。

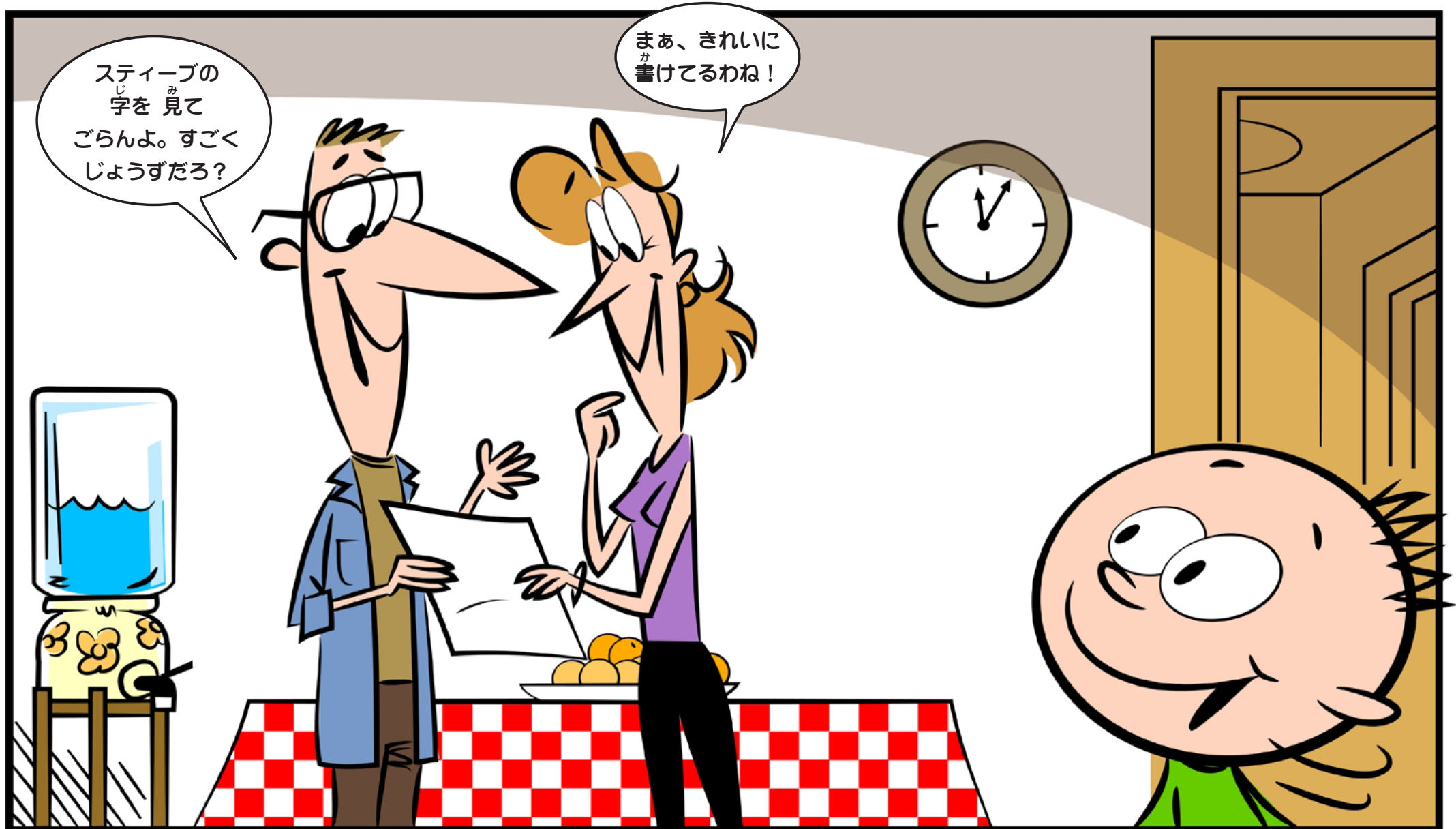


何を感謝したらいいかわかるように、ほかの人たちのことを、もっとよく知ることだ。彼らは何が好きで、何がきらいだろう？ その人にとって大切なものは何だろう？ いちばんありがたく感じるのは、どんなことだろう？
いったんだれがのことがもっとよくわかるようになれば、心から感謝の気持ちを表すのも、もっとかんたんになる。

感謝は心からのものでなくてはいけないからね。



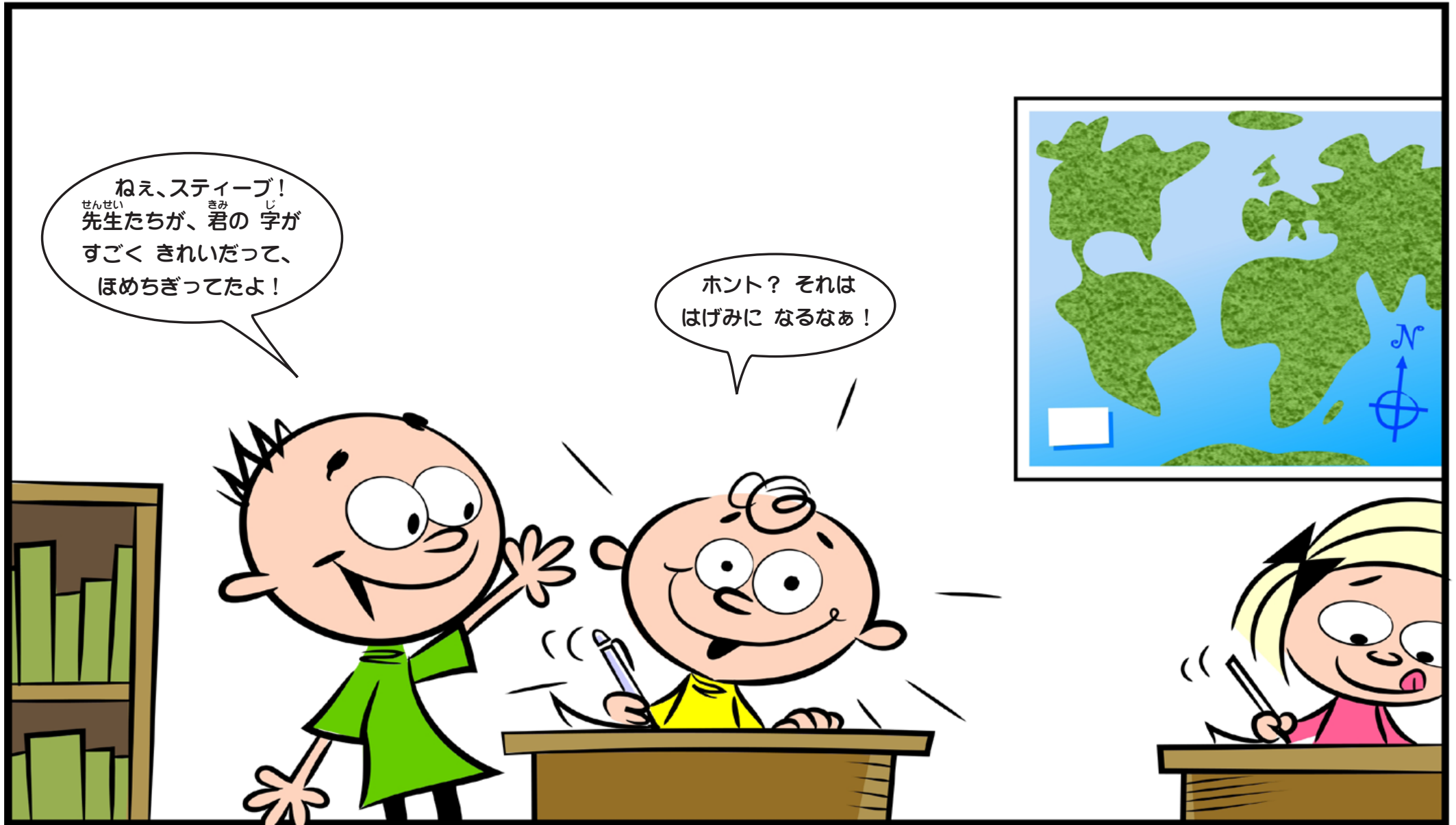
とも
友だちに、ほかの ^{ひと}人から ^き聞いた ^{ひと}その人についての ^よ良いことを ^{つた}伝える ^{しゅうかん}習慣をつけなさい。
だれかが ^{ひと}ある人について ^よ良いことを ^い言っているのを ^き聞いたら、それを ^{ひと}その人にも
^{つた}伝えるべきなんだ。 ^{ひと}その人にとって、とても はげみになるよ。

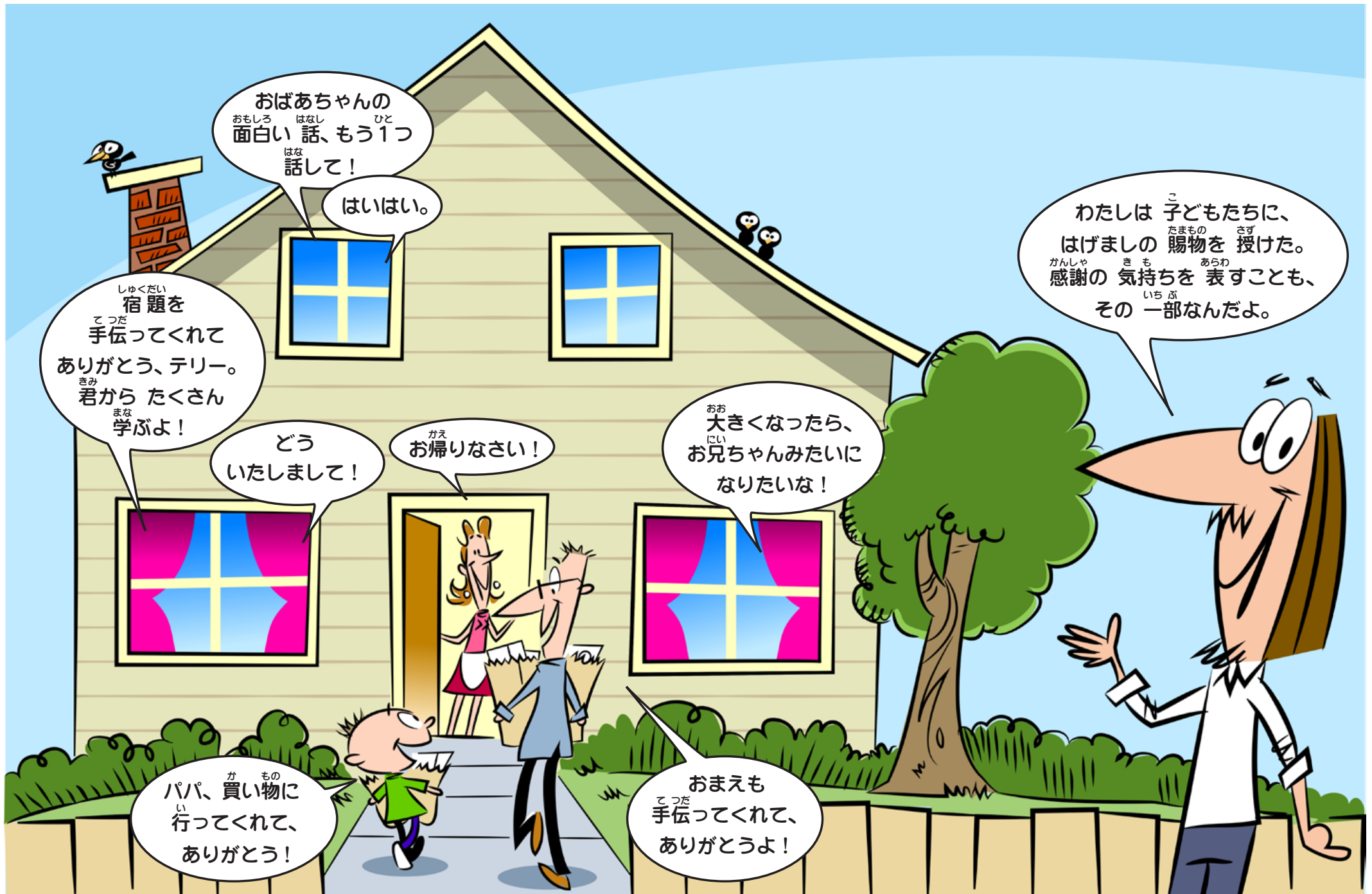


スティーブの
し
字を見て
ごらんよ。すごく
じょうずだろ？

まあ、きれいに
か
書けてるわね！

自分の知らないところで、自分について だれかが すてきなことを 言っていたとか、
感謝されていたって わかると、何か とても 特別なものを感じるよね。その 小さな はげまじや 感謝が、
まさに その 人の 1日を 明るくするのに 必要な ものだったかもしれないんだ。





おばあちゃんの
おもしろい話、もう一つ
話して!

はいはい。

宿題を
手伝ってくれて
ありがとう、テリー。
君からたくさん
学ぶよ!

どう
いたしまして!

お帰りなさい!

大きくなったら、
お兄ちゃんみたいに
なりたいな!

わたしは子どもたちに、
はげましの賜物を授けた。
感謝の気持ちを表すことも、
その一部なんだよ。

パパ、買い物に
行ってきて、
ありがとう!

おまえも
手伝ってくれて、
ありがとうよ!